



問い合わせ先

泗水図書館 ☎ (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ (37) 3111 内線303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

※図書イベント情報は、32ページの行事予定へ掲載しています。



これは「国民読書年」のロゴマークです。国が読書に対する国民意識を高めようと、2010年を「国民読書年」と定め、いろいろな取り組みを進めています。この機会に読書を楽しみましょう。

新着・お薦め図書

泗水図書館

不等辺三角形 内田康夫 著
 天国旅行 三浦しをん 著
 モンスター 百田尚樹 著
 おたふく 山本一力 著
 ギネス世界記録2010 クレイグ・グレンディ 編
 ビジュアル分解大図鑑 クリス・ウッドフォード 著
 ぼくのかわいいおさるちゃん ウルフ・ニルソン 著
 もぐらバス 佐藤雅彦 原案・うちのますみ 絵

中央公民館図書室

もっと知りたいノワール 島田紀夫 著
 どこに何があるか、すぐわかる収納術 飯田久恵 著
 再会 重松 清 著
 時計坂の家 高樓方子 著
 ちか100かいだてのいえ 岩井俊雄 著

七城公民館図書室

ガラスの巨塔 今井 彰 著
 ブラックチェンバー 大沢在昌 著

旭志公民館図書室

倒壊する巨塔(上・下) ローレンス・ライト 著
 モイモイのポッケ H@L・さく

チリとチリリはらっぱのおはなし

どいかや 作(アリス館)
 チリとチリリは2人姉妹。ある日、はらっぱで遊んでいました。くさむらぎを抜けると、大きなシロツメクサがあり、そこにハナバチがやってきました。2人がついて行くと…。(打出文庫) (菊池)

1Q84 BOOK 3

村上春樹 著(新潮社)
 スポーツインストラクターで、暗殺者という裏の顔を持つ青豆。予備校教師で小説家を志す天吾。2人を調べる財団法人専任理事の「牛河の物語」を加え、物語は、さらに深い森の中へ。(七城)

13ヵ月と13週と13日と満月の夜

アレックス・シアラー 著(求龍堂)
 赤毛でそばかすだらけの少女カーリーはおしゃべりが大好き。ある日、転校生がやってきたのをきっかけに奇想天外な出来事にまきこまれる。ハッピーエンドでも少しゾッとさせられる物語。(旭志)

向田邦子全集

向田邦子 著(文芸春秋)
 小説・エッセイなどの著作集。のちに妹によって発見され、公開を憂慮されたラブレターや遺言状なども収録。向田邦子の魅力を余すことなく味わえる別巻2冊を含む全13巻。(泗水)



貸出冊数 1人5冊まで
 貸出期限 2週間以内
 (中央公民館図書室)

司書の皆さん

肥後狂句桜会 4月例会

ずつなかな 孫はどごっぺ走りよる 田尻 浩風
 腹の底 酔えば思わず出る本音 高木 房恵
 さばけん 国産品に偽装しゅう 高倉 新米
 大騒ぎ ひらくちの出で取り逃がし 辻 弘喜
 陳列棚 うまかりそうな物ばかり 田中レイ子

肥後狂句水笑会 4月例会

墓参り やがてそっちで会うばいた 井出 水光
 うろたえて トイレ(の)スリッパひ やあちきた 御手洗三代
 遅刻して くるとはいっても決まっと 宮上 美由
 うろたえて 客をまたせて茶菓子買 梶原 乗仏
 いい気分 裸踊りは寒かろか 山隈 好茶

万句の里俳句会 4月例会

今年また卵一つの野鳩の巢 梅田 昭子
 夕映えに色極めをり若楓 宮本 雅子
 満開の花の虜に人の渦 林 まつ子
 藤の香のあふれてをりし今朝の庭 富田 幸子

花の屋睡魔ひそんでをりにけり

松永 久子

旭志文芸俳句会 4月詠草

放たれし仔牛の背中や小糠雨 水谷 ミネ
 ほのぼのと里山目覚むる山桜 芹川 蓉子
 蒲公英の家族の如く群れて咲き 中尾ヨシコ
 遠峯に白く光りて雪残る 東 芳子
 岩走る溪流の飛沫や風光る 芹川のり子

せせらぎ俳句会 4月例会

老耄れて春の愁いの濃かりけり 村山 数恵
 鶯の声背に受けて草を取る 服部 静子
 遠き日よ母の自慢のあさり寿司 寺本 和子
 散る花を傘にとじ込め帰宅せり 五丁 義昭
 春愁や尽きぬ悩みを持て余す 渡辺 大寿

高齢者大学 3月歌会

夫逝きぬ春のかすみの穏やかに旅発 中津 ツユ
 つ先も花の野であれ 中津 ツユ
 腰痛も生きる証と肯ひて今年も会は 岩木タエ子
 む城山の櫻

花咲くもさむ風吹くも拘わらず夫とわたくしわが道を行く 山城 雅子
 半世紀ぶりに逢ひたる友のゐる最後の同級会の別れがたしも 山田 弘子

七城短歌会 4月詠草

テレビにて「百歳万歳」映されぬ面映 ゆきかなわれの生き様 氏岡 百枝
 テレビにて「百歳万歳」映されぬ面映 ゆきかなわれの生き様 氏岡 百枝

泗水短歌会 4月詠草

「ユキ、ユキ」と櫻吹雪を追いし孫今日合格の知らせ届きぬ 高藤タツノ
 菜の花や黄色に染まる堤防は道行く人を蝶の如す 矢野 悦子
 風に乗る真鯉示せば孫抱かれし身を揺らし声あぐ 吉安 永子
 吹き出する青葉朱葉に誘はれて今朝は鎮守の森まで廻る 大島 ひと
 機上より白銀の富士望みたり女孫の婚に向かう如月 平嶋きくえ

ばけ・木蓮つづきて今を桜咲く春爛漫の庭に吾あり 岩津 涼子
 をちこちと車窓に見ては振り返り揺れいる藤に妻は指さす 村上 幾雄
 庭芝生に雀が一羽舞いきたり何を啄む首を振りつつ 松岡みちえ

文芸きくち参加者紹介

名称 せせらぎ俳句会
 活動 毎月第3土曜または第4土曜 午後1時～
 ところ 薬師公民館
 紹介 昭和20年代に合志文芸の中で活動していたせせらぎ句会が、合志文芸廃刊後、俳句会として活動を続けているものです。高校生から90歳を超える人まで、幅広い年代で俳句を楽しんでいます。俳句に興味のある人、入会をお待ちしています。
 問い合わせ先 せせらぎ俳句会(藤本) ☎ (38) 4087



楽しく創作活動をしています

